



平成16年台風16号の被害状況（高松市内、3ページに関連記事）

## ラジオへの出演



**私** が高松に着任して、ハケ月が経過しました。一月号で書いたとおり、冬の寒さはとても厳しいものになりましたが、最近ようやく暖かくなってきてほっとしております。

**さ** て本号でも取り上げておりますように、去る二月一二日の土曜日にサンポート合同庁舎のアイホールにて「みなと防災を考えるセミナー in 高松」が開催されました。セミナーの内容の詳細については本号の記事をご覧ください。ければ幸甚ですが、なんとこのセミナーの概要について、NHKラジオの生放送でインタビューを受けることになってしまいました。…といっても、二月二一日の月曜日早朝に既に放送は終わっております（もしかすると、お聞きになった方もいらっしゃるかも知れません）。

**所** 長という立場上、大勢の人の前で話すことはよくあるのですが、聞いている人が目の前にいるというのは、それだけで安心できます。しかし、目に見えない不特定多数の人たちに向かって話をするのは、なかなか慣れることができません。まだまだ、修行が足りないようです。

高松港湾・空港整備事務所長

瀬賀 康浩

# ~シリーズ~ この人に聞く



三菱化学株式会社 坂出事業所

ほそかわ まもる  
海務監督 細川 守 氏  
(船長)

昭和43年 8月 日本郵船株式会社入社  
平成15年10月 三菱化学株式会社入社  
現職

## 世界に誇る「総合石炭化学工場」

### 瀬戸内海の扇の要に立地

一九六〇年代における鉄鋼  
各社の増産に対応すべく、当

社はコークスの新工場を建設  
することとし、大型船の接岸  
可能な港湾設備を備えている  
ことに加え、太平洋沿岸及び



番の州にある事業所

瀬戸内海沿岸に立地している  
製鉄各社への距離が近いこと  
から、瀬戸内海の扇の要にあ  
たる番の州工業地帯に立地し  
ました。

当事業所は、一九六九年製  
鉄用コークスの製造を開始以  
来、コークスの製造の際に発  
生するコークス炉ガスやコー  
ルタールに着目し、更なる製  
品開発の結果、電気炉用電極  
材料であるニードルコークス  
やピッチコークス、石炭ピツ  
チ系炭素繊維<sup>(※)</sup>、近年ではリ  
チウムイオン2次電池用負極  
材や自動車の排ガス処理設備  
等に使用されるアルミナ繊維<sup>(※)</sup>  
を世に送り出しており、石  
炭・炭素を中心とした日本  
最大の「総合石炭化学工  
場」として更なる進化と発  
展を目指しています。

※石炭ピッチ系炭素繊維  
及びアルミナ繊維は、三  
菱樹脂株式会社の製品



### 安定操業を支える安全航行

当事業所は、備讃瀬戸の中  
心部に位置し、備讃瀬戸航路  
と水島航路交差点を近隣に控  
え、瀬戸内海の銀座とも言え  
る毎日約九〇〇隻から一〇〇  
〇隻の大小船舶が航行する輻  
輳域内に存在します。

当事業所は、年間五五〇万  
トンの石炭を海外から輸入し、  
その石炭を原料としたコーク  
ス三九〇万トン、主に国内  
外の製鉄所へ大小の船舶によ  
り海上輸送を行っています  
(外航船一〇〇〜一五〇隻、  
内航船約二〇〇〇隻)。

即ち、事業所の安定操業、  
荷主様へのサービス寄与は船  
舶の安全航行によって維持さ  
れており、前述の輻輳域下で  
の海難事故は絶対起こしては  
ならない宿命と認識していま  
す。

### 自主管理機構による運営

一九七二年四月、関係官庁  
のご指導のもとにコスモ石油  
殿と当社にて「坂出港番の州  
地区自主管理機構」を設立以  
来、現在では年間約五〇〇〇



「坂出丸」安全に配慮しながら石炭を輸送

隻に及ぶ番の州地区における  
船舶航行の安全を維持するた  
め、私設信号所・警戒船の配  
備・曳船基地の設置などハー  
ド面の整備に加え、番の州泊  
地内の航行基準を作成し各船  
舶への遵守指導及び陸上から  
のサポートなどを積極的に行  
っています。

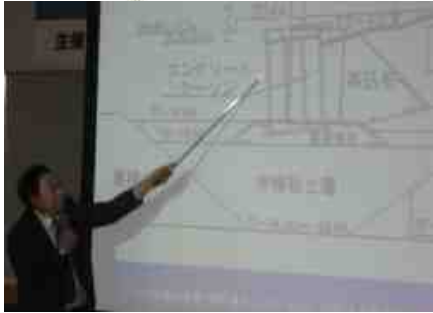
「安全に！」





# 災害時の港湾機能について学習

## 「みなとと防災を考えるセミナー in 高松」を開催！



独立行政法人港湾空港技術研究所  
菅野特別研究官

### 交通機関の心配を乗り越え開催

四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所は二月二日、港湾における防災と危機管理のあり方やその役割について考える「みなとと防災を考えるセミナー in 高松」をサンポート合同庁舎アイホールにて開催しました。前日の二月十一日、高松市内では二五年ぶりとなる五センチの雪が観測され、当日も雪が積もつたまままで交通機関の心配もありましたが、県内の自主防災組織や関係行政機関など約一七〇人に参加いただきました。

### 地震のメカニズムを学習

講演は、まず独立行政法人港湾空港技術研究所特別研究官の菅野高弘氏が「巨大地震の時、港湾・海岸施設に何が起きるのか？」「被災メカニズムを知り、万一の事態に備えよう」と題し、地震発生や震災時に発生する液状化現象のメカニズムを説明されました。港は震災時に救援物資の輸送や避難に必要な場所であり、岸壁の耐震化などの備えは重要であると話されました。

### 防災面でもフェリーは大活躍

引き続きいてジャンボフェリー株式会社会長の加藤琢二氏が「防災面におけるフェリーの役割について」と題して講演。一九九五年の阪神・淡路大震災で道路や鉄道が遮断された際、フェリーが三ヶ月で六〇万人輸送したなど、災害時における海上交通の重



ジャンボフェリー株式会社  
加藤会長

### 陸間は閉めよう

最後に、香川県土木部港湾課課長補佐森川照久氏が「平成一六年台風一六号の高潮被害を踏まえて」と題し、一六号台風の被害実態を報告したうえで、「陸間は普段から閉めておくもの。開けっ放しにするのではなく、常時閉める癖をつけて欲しい」と訴えました。

### 企画調整課 黒川

### 高松港海岸工事

### 西端側七〇メートルに着手

高松市浜ノ町において進めている海岸工事は全延長二五〇メートルの内、西端側七〇メートルの施工に取りました。

現在、大規模地震が来ても地盤の液状化を防ぎ護岸が損壊するのを防ぐ為の地盤改良に取りかかっています。具体的には地中に地盤を固める薬液を注入する為、現在注入孔の削孔作業をしております。人にとえれば、注射器の針を打つ作業中です。コンクリートや石を貫通させるので非常に大きな音が伴う為、地域住民の皆様の生活環境に配慮し、防音ハウスを設置しています。



サンポート高松  
浜ノ町施工区間 (250m)  
[©Geoscience NTT DATA, PESTEC / Included©JAXA]



▲ 薬液を注入する削孔工事

本工事完成は本年九月末を予定しているところですが、完成まで引き続きご協力頂きますようお願い申し上げます。



# 春のイベント情報



## みなとオアシス 大阪城残石記念公園 春の公園まつり 桜のぼりせと市(第20回)

日時 平成23年5月1日(日)  
9:00~12:30 ※雨天決行

場所 香川県小豆郡土庄町小海  
大坂城残石記念公園広場

獲れたての海産物や農産物の産直販売に加え、衣料品や工芸品の展示・販売もあります。また「橄欖(かんらん)」による島太鼓演奏も楽しめます。

是非お立ち寄りください

お問い合わせ先  
みなとオアシス大坂城残石記念公園  
TEL: 0879-65-2865



## みなとオアシス うたづウミホテル 歩天・うたづ「桜どおり」

日時 平成23年4月3日(日)  
10:00~17:00 ※雨天決行

場所 宇多津ビブレ~みなとオアシスうたづ  
ウミホテル(臨海公園)

臨海公園から500m続く桜並木を行者天国とし、飲食ブースや雑貨販売などの出店で賑わいます。また、地元よさこい連による踊り・子供たちによるキッズダンス等に加え、働く車の展示など、イベントも盛りだくさんとなっています。

お問い合わせ先  
まちづくりアクションプラン協議会事務局  
TEL: 0877-49-8009(宇多津町産業振興課内)



水質・底質調査  
など、海の健康  
を診断します。

海に浮いている  
ごみや油を回収し、  
廃棄きれいにします。

船の大きさ  
長さ: 33.5m  
幅: 11.6m  
深さ: 4.2m  
総トン数:  
199トン

海洋環境船イメージ画

災害時の情報発信や支援活動を行います

# 募集中!

## 海を掃除する船の名付け親になりませんか

### 3月31日まで

国土交通省では、海面に浮遊するゴミや油の回収を行い、航行船舶の安全を確保する海洋環境整備事業を展開しています。現在備讃瀬戸海域を中心とした海面清掃を担務している「わしゅう」は老朽化のため平成23年12月に退役し、平成24年1月から最新鋭の海洋環境船へ引き継がれることになりました。

このたびの新造船への更新にあたって、皆様方にも親しみやすく愛される新世代の海洋環境船を目指して、次のとおり広く船名を募集しているところです。

応募に当たっての詳細を当所ホームページに記載していますので、どしどしご応募いただけますようお願いいたします。

ホームページアドレスはこちら



<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>



国土交通省・四国地方整備局  
高松港湾・空港整備事務所

●高松港湾・空港整備事務所  
〒760-0011  
高松市浜ノ町72番9号  
TEL087-851-5522  
FAX087-826-1210

●坂出港分室  
〒762-0002  
坂出市入船町1-5-26  
TEL0877-46-0311  
FAX0877-45-4689

【ホームページアドレス】

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>

お気軽にアクセスしてください  
皆さんからのお便りもお待ちしています。

『海とみなとの相談窓口』全国共通フリーダイヤル

おーいによくなれみなと  
**0120-497-370**

受付時間: 9:30~12:00と13:00~17:00  
(土・日・祝祭日・年末年始を除く) \*一部の地域を除きます。